

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.180
2011年5月発行

公益財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>

公益財団法人移行記念号



巻頭言

第二の出発

大学セミナーハウス 理事長
佐藤 東洋士

この度、「財団法人大学セミナーハウス」が公益法人の制度改革により、「公益財団法人大学セミナーハウス」となりました。かなり手間のかかる申請作業ではありましたが、理事・評議員の方々のご支持をいただきつつ、事務局で綿密な検討を加えながら申請作業をした結果、比較的早期に認可が下りたものと思います。荻上館長、堂前専務理事、程島専務理事のきめ細かい指導が今日をもたらしました。3月25日には東京都から認可が下りましたが、結果として数多くある他の公益法人の中では順調に作業が進んだものと思われま

す。ご承知のように、3月11日午後2時46分に、かつて経験をしたことが無い、また観測記録が無い、マグニチュード9.0という大地震を経験いたしました。セミナーハウスでは老朽化した本館をはじめいくつかの建物で、内装部分にヒビ割れが生じるなどの被害が見受けられましたが、幸いなことに人的、物的被害に大きなものはありませんでした。会員校の多くでも震災にかかわる大きな被害のみならず、学事歴を大幅に変更するなどかつて私たちが経験をしなかった事態まで起きています。この状況に伴って、多くの予定されていたセミナーハウス利用者は利用計画を中止したり延期をしたりで、予定のキャンセルという結果になっています。この傾向はまだしばらくの間は続くものと思われま

すが、こんな時期であるからこそ大学セミナーハウスは一体となって、前を向いて歩かなくてはなりません。大学セミナーハウスが、上代たの日本女子大学学長、茅誠司東京大学総長、大浜信泉早稲田大学総長、佐藤喜一郎三井銀行会長、飯田宗一郎を中心とする先輩たちの熱心な努力によって開館したのは1965年7月5日の

ことでした。2015年には50周年を迎えます。セミナーハウスは、開館以来延べ195万人を越す利用者に豊かな自然環境のなかで充実した研修の機会を与えてきました。しかし、40周年を迎えたころからは吉阪隆正早稲田大学教授の設計による建築史上に残る建物も老朽化し、利用者の需要に応えることが困難になっていましたが、近年ではさくら館の新築、グラウンドの整備、また多くの建物が時代にあった形で改修が成されています。限られた財源の中での運営ですので全ての課題解決が可能であるとはいえませんが、開館の時の高い理想を保ちつつ、これからも歩み続けなければなりません。

「公益財団法人大学セミナーハウス」としての第二の歩みは、大変厳しい環境の中で始まりましたが、「詮方作れども、望みを失わずに」との思いを胸に抱きながら、セミナーハウス理事、評議員、職員が心をひとつにして、このユニークなキャンパスが高等教育の世界で一層の貢献ができるようにしたいと願っていますので、皆様のご指示、ご協力のほどお願い申し上げます。

●佐藤 東洋士（さとう とよし）プロフィール

桜美林学園理事長・桜美林大学学長

専門：高等教育

略歴：1989年4月 桜美林大学国際学部教授・国際学科長

1990年3月 同学長補佐（学務担当）

1992年4月 桜美林学園評議員

1993年4月 桜美林大学副学長、
同大学院国際学研究科教授

1996年4月 同学長（現在に至る）、
桜美林学園常任理事

2003年5月 同理事長

兼職：日本私立大学協会常務理事、

日本高等教育評価機構理事、

大学評価・学位授与機構機関別認証評価委員会委員、
文部科学省大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）委員、

文部科学省中央教育審議会大学分科会委員、

文部科学省国立大学法人評価委員会専門委員、

公益財団法人大学セミナーハウス理事長

公益財団法人移行記念特集

足元を見据えて、一步一步頑張ります

専務理事 程島 俊介

めでたく本年4月1日をもって、公益財団法人大学セミナーハウスに移行しました。これまで1年猶予に亘って申請準備に携ってきた諸先輩方及び同僚の皆様そして支援してきていただいた加盟機関の先生方に心より御礼を申し上げます。スタッフ一同、心を引き締めて第一歩を踏み出したいと存じます。

公益法人になって、どんなメリットがあるのか、との意見もあるかと存じます。確かに、社会的評価と組織の継続性担保は財団法人の資格を取ったときからのメリットでしょう。よく言われるように、法人税等の税制の優遇措置と寄付における特定公益増進法人としての税額控除の2点がメリットの中心でしょうか。積極的にご寄付をいただける魅力ある組織になることが求められているわけです。

本法人は、既に開館46年の歴史を刻み、開館50周年の新棟建設を目指して、さらに使いやすいセミナーハウスを目指して、年間4万人の利用者を目指して、スタッフ一同頑張っていこうとしておりました矢先

に……

ご存知の通り、3月11日を境に状況は一変してしまいました。東日本大震災の被災地には及びも致しませんが、3月11日以降、本法人の宿泊者が増える時期でもあります3、4月に、予約の取り消しが相次ぎ、3月3,000名以上、4月2,000名以上、この2ヶ月で5,000名以上のキャンセルが続き、財政基盤を揺るがす事態になりつつあります。計画停電が夏にも起こるようですと……考えたくありません。さくら館に自家発電装置を導入するなど停電対策を立てているのですが……

公益財団法人移行をステップに飛躍を考えていただけに、足をすくわれてしまいましたが、本年度は、財政再建に取り組み、財務の足腰を鍛え、足元を見据えて、一步一步頑張りたいと存じます。どうか、1名でも多くの方が宿泊していただきたく、ご支援のほどをお願いいたします。

公益財団法人理事、監事、評議員

役員名 <評議員>	氏名	所属	役職 (移行認定申請時)
	佐野 博敏	大妻学院	顧問
	鷺山 恭彦	(元) 東京学芸大学	学長
	篠田 節子	作家	
	小磯 明	東京都議会議員	
	福田 一郎	東京女子大学	名誉教授
	木村 利人	恵泉女学園大学	学長
	村田 雄二郎	東京大学	大学院総合文化研究科教授
	小畑 秀文	東京農工大学	学長
	山本 眞一	広島大学	高等教育研究開発センター長・教授
	佐藤 保	学校法人二松学舎	顧問
	上野 淳	首都大学東京	副学長
	大井 孝	(財) 国際教育振興会	理事長
	高石 道明	(元) 創造学園大学	教授
	福井 憲彦	学校法人学習院	学習院大学学長
	安西 祐一郎	(元) 慶応義塾大学	塾長
<理事>			
理事長	佐藤 東洋士	桜美林大学	理事長・学長
館長	萩上 紘一	大学評価・学位授与機構	教授
専務理事	程島 俊介	大学セミナーハウス	専務理事
	奥島 孝康	早稲田大学	学事顧問
	鈴木 康司	財団法人日仏会館	副理事長
	鈴木 典比古	国際基督教大学	学長
	蟻川 芳子	日本女子大学	学長・理事長
	増田 壽男	法政大学	総長
	光田 明正	桜美林大学孔子学院	学院長
<監事>			
	冲永 佳史	帝京大学	理事長・学長
	郷 通子	大学共同利用機関法人	理事



第125回理事会・第102回評議員会

実施日:平成23年3月30日(水)
場所:桜美林大学四谷キャンパス

平成23年3月30日(水)に桜美林大学四谷キャンパスにおいて、次の3件の議題審議を予定し、開催のご案内をお送りしたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による社会状況により開催を中止し、改めて、書面表決によって賛否をお願いすることとした。

その結果、いづれの議題も、原案通り賛成多数で可決された。

- ①平成23年度事業計画案について(理事会、評議員会共通議題)
- ②平成23年度収支予算案について(理事会、評議員会共通議題)
- ③協力会員、賛助会員の入会について(理事会議題) 以上

第10回運営幹事会

実施日:平成22年12月25日(土)
場所:大学セミナーハウス大学院セミナー室
出席者:運営幹事9名(総員15名)

「第10回運営幹事会」を次の通り開催いたしました。

第10回運営幹事会議事内容

1. 理事長、館長挨拶
2. 施設の見学
3. 業務報告
 - ①平成22年度利用状況
 - ②平成22年度主催セミナー実施状況
 - ③平成22年度施設改修状況
 - ④敷地造成の状況
 - ⑤お客様アンケートの内容と対応状況
 - ⑥サービス内容の改善状況
4. 公益財団法人移行認定申請状況の報告
 - ①移行認定申請書及び役員等就任予定者について
・平成22年12月15日に公益財団法人への移行認定を申請
 - ②関連規程について
・定款(案)、評議員及び役員等の報酬規程、協力会員等に関する規程、寄附金等取扱規則
5. 開館50周年記念事業の内部検討状況報告
 - ①50周年記念事業を、次の発展への中長期計画の一環として位置づけ、課長会議を中心に内部検討を開始
 - ②検討項目
・現状の施設、利用状況、財政状況の見直し
・利用者拡大の方策
・セミナーハウスの魅力とコンセプト
6. 平成23年度事業計画案及び予算案作成の基本方針
 - ①学生の宿泊研修支援事業の拡大する
 - ②大学間の相互交流や大学教育の向上を目指す研修セミナーを拡充する
 - ③留学生教育支援のため、留学生会館等の運営環境を整備する
 - ④セミナーハウスの自然環境を整備する
 - ⑤公益財団法人としての組織、財政等を整備する
 - ⑥開館50周年記念事業の準備を開始する
 - ⑦施設・設備の長期的修繕・改修計画を策定する
7. 公益財団法人認定後の協力会員校の組織について
運営幹事会を発展的に解消して、理事長の諮問機関として「協力会員協議会」を発足させる。
8. 運営幹事からのご意見・ご提言について
施設整備、主催セミナーの参加者増対策、利用者増のための各種の方策、会員校会費の検討など、各種の有益なご提言を頂きました。 以上

平成23年度 予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

総括表

単位:千円

科 目	23年度予算額	22年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10	10	0
基本財産利息収益	10	10	0
事業収益	168,675	183,423	△ 14,748
学生宿泊事業収益	101,237	113,933	△ 12,696
セミナー事業収益	8,912	6,378	2,534
留学生支援事業収益	12,420	12,420	0
留学生論文支援事業収益	0	0	0
社会人宿泊事業収益	39,841	45,150	△ 5,309
土地等貸付事業収益	6,265	5,542	723
受取補助金等収益	0	200	△ 200
受取補助金等	0	200	△ 200
受取会費・寄附金収益	53,780	51,990	1,790
会員会費収益	52,780	50,880	1,900
千人会費収益	1,000	1,010	△ 10
その他の寄附金収益	0	100	△ 100
雑収益	10	10	0
雑収益	10	10	0
経常収益計	222,475	235,633	△ 13,158
(2) 経常費用			
役員報酬	5,450	6,250	△ 800
職員給与	29,377	37,258	△ 7,881
非常勤給与	19,741	20,621	△ 880
退職金	1,000	0	1,000
退職給付金	936	1,350	△ 414
福利厚生費	5,822	5,812	10
保険料	959	1,064	△ 105
渉外費	550	400	150
会議費	1,025	2,033	△ 1,008
諸謝金	3,135	1,525	1,610
報奨金	0	200	△ 200
旅費交通費	1,104	970	134
通信運搬費	1,139	1,165	△ 26
電話費	2,150	2,050	100
寝具費	6,919	7,200	△ 281
光熱水料	24,429	23,710	719
清掃費	1,310	1,786	△ 476
印刷製本費	1,301	766	535
消耗品費	4,543	4,000	543
什器備品費	800	1,800	△ 1,000
食事費	2,418	982	1,436
売店仕入費	267	200	67
車両費	316	400	△ 84
修理費	50	500	△ 450
管理委託費	41,903	38,440	3,463
リース費	3,901	664	3,237
広告費	779	830	△ 51
図書費	0	50	△ 50
修繕費	11,496	10,000	1,496
園地費	3,000	1,500	1,500
租税公課	4,079	3,662	417
支払利息	6,021	6,573	△ 552
減価償却費	38,740	38,000	740
除却費	1,000	1,000	0
雑費	500	500	0
経常費用計	226,160	223,261	2,899
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,685	12,372	△ 16,057
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,685	12,372	△ 16,057
2 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
租税公課(法人税、都民税均等割)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,685	12,372	△ 16,057
一般正味財産期首残高	846,207	833,835	12,372
一般正味財産期末残高	842,522	846,207	△ 3,685
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	842,522	846,207	△ 3,685

平成22年度 宿泊業務報告

◆年間の宿泊利用者数31,274人

平成22年度の宿泊利用者数は延べ31,274人で、前年度が33,471人でしたので2,197人の減少でした。

22年度上期は昨年受注のあった大型団体が受注できず前年比95.2%の結果となりました。下期当初は前年同月比152%と好調でしたが、東日本大震災及び福島原子力発電所の事故で60件3,000人のキャンセルがあり前年比93.4%と残念な結果に終わりました。地震の影響は次第に収束されると思われませんが、原子力発電所の事故の影響は長期に及ぶものと思われま

◆区分別利用状況

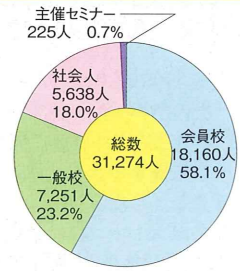
宿泊延人数全体に占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

表1 宿泊延人数

区分	平成22年度		平成21年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会員校	18,160	58.1%	17,402	52.0%
一般校	7,251	23.2%	9,118	27.2%
社会人	5,638	18.0%	6,651	19.9%
主催セミナー	225	0.7%	300	0.9%
合計	31,274	100%	33,471	100%

利用区分比率は会員校で前年比6%増、一般校△4%、社会人△2%、主催セミナーは前年並の結果になりました。教育関係の占める割合は82%となりました。

図1 利用区分構成比



◆宿泊の年間稼働率は31.2%

本年度のセミナーハウスの営業日数は、前年度より2日多い360日で、宿泊室(宿泊定員279人)の年間平均稼働率は31.2%でした。

尚、ご参考までに本年度最多利用会員校を紹介します。(表2)

表2 協力会員校最多利用10校

順位	大学名	宿泊延人数(人)	順位	大学名	グループ数
1	早稲田大学	2,045	1	中央大学	34
2	中央大学	1,253	2	早稲田大学	34
3	創価大学	1,247	3	法政大学	31
4	法政大学	1,028	4	首都大学東京	27
5	首都大学東京	946	5	日本大学	22
6	東京大学	668	6	創価大学	20
7	慶應義塾大学	637	7	慶應義塾大学	16
8	日本大学	592	8	東洋大学	16
9	明治大学	585	9	青山学院大学	15
10	明星大学	500	10	東京学芸大学	15

ご利用ありがとうございました (平成22年10月~平成23年3月)

* =同月2回利用
** =同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)

敬称略

■10月(50グループ、延1,793人)

- 首都大学東京 都市基盤計画交通研究室
- 上智大学 STP盛岡
- 日本女子大学 上田ゼミ
- 東京農工大学 仁藤研究室
- 早稲田大学 渡辺仁史研究室
- 東京大学 梅檀ゼミ
- 電気通信大学 藤井・山尾研究室
- 上智大学 STP
- 東京学芸大学 国語科
- 国際開発プランニングコンテスト実行委員会
- 中央大学 心理学
- 学習院大学 フランス会部
- 日韓学生会議同友会
- 法政大学 アカデミー
- 関東学生オリエンティング連盟
- 独立行政法人国立高等専門学校機構
- 明星大学 環境システム学科
- カールスモーキー
- 関西創価中学校・高等学校
- 留学生
- 第52回大学教員セミナー
- 第37回国際学生セミナー
- 東京都立新宿高等学校 2年生
- 三育学院カレッジ 神学科
- 日本女子体育大学 角田研究室
- 東京薬科大学 キャンプ8班
- 神田外語大学 英米語学科
- 城西大学経済学部 青山ゼミ

- 渋谷ギター合奏団
- ダイアログ・キャンプ
- ミツユニオン
- 混声合唱団 うたの森
- ラフターヨガジャパン
- 日本基督教団 高輪教会
- 調布南キリスト教会
- NPO法人地球と未来の環境基金
- (株)アールシー総研
- (株)ワークソリューションズ
- ツリーマスタークライミングアカデミー
- 石川千鶴記念会
- 日本分光(株)
- 男声合唱団東京リーダーターフェル1925
- AA南多摩地区ラウンドアップ実行委員会
- (日帰り利用)
- 7イック中央大学委員会
- 調布バプテストテンプル **
- ひの炭やきクラブ
- 積水ハウス(株) 総務課

■11月(60グループ、延2,036人)

- 中央大学 甲斐ゼミ
- 留学生
- 慶應義塾大学 長谷部ゼミ
- 日本女子大学附属高等学校
- 首都大学東京 小林研究室
- 日本生物工学会
- 八王子BBS会
- アシードジャパン
- 創価高等学校2年生男子
- バイオ高分子若手研究会
- 中央大学 旅の会
- 地域づくりインターンの会
- 中央大学 エンガレッジ
- 駒澤大学 合唱団
- 明星大学 小貫ゼミ
- 東京外国語大学 受田ゼミ

- 早稲田大学 伊藤ゼミ
- 東京農業大学
- 三大学インターゼミナール
- 東京学芸大学 教育社会学研修室
- 東京都市大学 西野研究室
- 国際基督教大学 公共政策卒論ゼミ
- NPO法人POSSE
- 留学生
- 国際基督教大学 ROゼミ
- 法政大学 小椋ゼミ
- お茶の水女子大学 グローバル教育センター
- 日本女子大学 英文学科
- ぐるぐるつくる大学セミナーハウス
- アイセックジャパンJWI
- 創価大学 キャリアセンター
- 首都大学東京 社会人類学
- 東京学芸大学 国分ゼミ・奥住ゼミ
- 第7回古代史セミナー
- 玉川大学 山口ゼミ
- 目白大学 青木ゼミ
- 亜細亜大学 国際文化局
- 東都学生軟式野球連盟
- 杜若高等学校 野球部
- 名古屋商科大学 軟式野球部
- 愛知大学 豊橋学舎
- 明治学院大学 軟式野球部
- 一橋大学 佐藤ゼミ
- 武蔵野市役所
- オリエンタルモーター(株)
- ウェスレアン・ホーリス教団 淀橋教会 青年社会人宣教会
- 合唱団エトワール
- ツリーマスタークライミングアカデミー
- (有和)
- 杜若高等学校 野球部父母会
- (有)テボル
- ズークジャパン
- 和のつとい

ご利用状況

石川千鶴記念会

日帰り利用

(株)TBSテレビ
日本大学 短期大学部
調布バプテスト Templar **
ひの炭やきクラブ

■12月(54グループ、延2,314人)

明星大学 留学生
首都大学東京 留学生
アイセック早稲田大学委員会
アイセック中央大学委員会
社会学合同セミナー
アイセック青山学院大学委員会
国立高等専門学校機構
立教大学 砂川ゼミ
中央大学 ボクシング部
日本大学 ロックハイマーゼミ
第12回大学人コミュニケーション力養成セミナー
工学院大学 遠藤和義研究室
日本大学 湯浅ゼミ
早稲田大学 河西ゼミ
東京工科大学 キャリアサポートセンター
青山学院大学 塩澤ゼミ
帝京大学
帝京大学 医学部事務部
中央大学 ボクシング部
慶應義塾大学 菊澤ゼミ
首都大学東京 生命科学
横浜国立大学 三戸ゼミ
東京工業大学 米崎研究室
六大学合同セミナー
早稲田大学

日本大学 古田ゼミ
日本大学 バスケットボールちゃほま
東京女子大学 中村ゼミ
東京大学 教養学部学生自治会

首都大学東京
工学院大学 吉田研究室
中央大学英語会
横浜ゼミナール
東京薬科大学キャンパス5班
八王子高等学校
個別指導塾トリムスタディ
ものづくり大学
AITC
アザリーイイダ
国際物理オリンピック代表候補者合宿
文学教育研究者集団
東京都高校体育連盟陸上部
日中青年会議
(財)日本アウトワードバウンド協会
コーチング研究会
(株)生活科学運営
非暴力コミュニケーションNVC
有限会社アポロ
(株)本牧ビルサービス
石川千鶴記念会

日帰り利用

(株)ニトリ
調布バプテスト Templar
東京八王子ワイズメンズクラブ
ツリーマスタークライミングアカデミー

■1月(33グループ、延825人)

法政大学 公認会計士講座
日本大学 山田ゼミ
慶應義塾大学 玉村ゼミ

首都大学東京 地盤グループ
成蹊大学 上田ゼミ
東京工科大学 苗村研究室
青山学院大学 佐久間ゼミ
創価大学 キャリアセンター
早稲田大学 アクセシブルデザイン研究会
早稲田大学 佐渡島ゼミ
首都大学東京 留学生
東京農業大学 フィールドアシスタントネットワーク
アイセックジャパン
創価大学 長谷部ゼミ
駒澤大学 瀬戸岡ゼミ
駒澤大学 近世史ゼミ
早稲田大学 アクセシブルデザイン研究会
中央大学 若林茂則ゼミ
中央大学 ボランティア研究会
神田外語大学
NPO法人ZEROキッズ
日本グループワークトレーニング協会
玉川大学 山口ゼミ
スパイラルズ
ラフターヨガジャパン
社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
カリック調布共同体
杉並ウインドハーモニーアンサンブル
石川千鶴記念会
NPO法人日本芝草研究機構

日帰り利用

調布バプテスト Templar
ツリーマスタークライミングアカデミー
デジタルハリウッド大学

■2月(51グループ、延2,740人)

ヤマザキ学園大学
日本大学 代田ゼミ
桜美林大学 生協学生委員会留学生委員会
(株)スリーポンド
法政大学 廣川ゼミ
アイセック慶應大学委員会
アイセック上智大学委員会
中央大学 鳥居ゼミ
早稲田大学 アクセシブルデザイン研究会
青山学院大学 白井ゼミ
創価大学 国際連合研究会
日本大学 法学部
立教大学 ふくろうの会
アイセック早稲田大学委員会
東洋大学
東洋大学 ほばたき
日本大学 中邨ゼミ
アイセック中央大学委員会
日本大学 法学部福田充ゼミ
青山学院大学 寺東ゼミ
日本大学 福島ゼミ
帝京大学 初等教育
中央大学 混声合唱こだま会
千葉大学 教育学部松尾研究室
駒澤大学 青木茂樹ゼミ
中央大学 経済学部ゼミナール連合会
法政大学 リンゴの木
中央大学 芳賀ゼミ
明治大学 混声合唱団
早稲田大学 吉野ゼミ
恵泉女学園大学 学生宗教部シャロン
ベンノ森
東京農工大学 宮浦・稲田研究室
留学生

東京薬科大学 新歓祭
ルーテル学院大学
聖学院大学 キリスト教センター
東京薬科大学 キャンパス7班
一橋大学 関啓子ゼミ
NPO法人日本芝草研究機構
ツリーマスタークライミングアカデミー
万国アソシエイト福音伝道協会
青山学院大学 寺東ゼミOB

日帰り利用

法政大学 仁平ゼミ
調布バプテスト Templar
ひの炭やきクラブ
ツリーマスタークライミングアカデミー*
由木めぐみ野緑地再生プロジェクト

■3月(49グループ、延946人)

JANOSBOTZHEIM
聖心女子大学 グリークラブ
コントラクトブリッジ
春の小セミナー2011
東京学芸大学 教育学部表現コミュニケーション
中央大学 英語学会
法政大学 生協学生委員会
駒澤大学 姉齒ゼミ
大学人コミュニケーション力養成セミナー
法政大学 金原ゼミ
法政大学 八重倉ゼミ
創価大学 経済学部堀ゼミ
早稲田大学 アクセシブルデザイン研究会
東洋大学 法学部高木英行ゼミ
KBC実行委員会
駒澤大学 探検部
(株)スリーポンド
(株)ホームスクール
くら寿司多摩ニュータウン店
中央大学 カモシカスキークラブ
中央大学 馬場ゼミナール
早稲田大学 ロシア語劇団コンソルト
国際基督教大学 デイバート部
多摩大学 キャリア支援課
多摩大学経営情報学部 斉藤裕美ゼミ
あしなが育英会国際課
合唱団RUNE
神田外語大学
科学研究費研究会
東北大学
都留文化大学 文学部田中実ゼミ
日本バプテスト連合青年部
横河電機(株)
プライスイメージ研究所
コニカミルタ労働組合
(株)オザム流通部
(株)九州屋
日帰り利用
アイセック中央大学委員会
駒沢大学 合唱団
アポロ
八王子市立高嶺小学校 卒業を祝う会
メンズジョーカー
調布バプテスト Templar **
(株)学凜社
NPO法人ハウストコム
中山里山を愛する会
ツリーマスタークライミングアカデミー

会費をありがとうございました

2010年10月～2011年3月 (敬称略)

東壽太郎、松田千鶴子、末松安晴、関本昌秀、有末 賢、福島正久、滝口 亨、平澤茂一、前川真理、田中弥寿雄、築田長世、井手久登、木畑洋一、小林善彦、小田中敏男、小田 滋、大口勇次郎、鈴木順子、牧内 操、高橋美佐子、芳野赳夫、田村皖司、篠崎啓助、田島澄江、米満 澄、熊川 忠、小林徹郎、宇野重昭、戸張よし子、梶木隆一、木下是雄、近藤 保、生山智己、福井憲彦、大須賀節雄、青木生子、城 謙輔、尾田幸男、甲斐 隆、白井克彦、池田 温、松本幸一、山岸 健、川鍋正敏、澤孝一郎、後藤敏明、横沼健雄、小西正捷、吉田 豊、中野斉子、石田孝夫、平野健一郎、青柳総太郎、有山正孝、高橋恒郎、三浦安子、川端香男里、小谷正博、堀井啓幸、乾 崇夫、出光直樹、大澤恵美子、新井 明、武田昌輔、慶谷壽信、柳澤富雄、鈴木 皇、松山正男、北原文雄、得田保雄、佐藤音彦、池井 優、新保清子、風間邦光、松田安弘、石川道夫、蓮見音彦、柳父園近、小山弘志、岡崎 正、福永寿己夫、上田明子、海老沢信一、肥前榮一、小林一彦、根岸愛子、本田和子、磯 直道、泉 敏彦、中村妙子、勝見允行、森 久、小幡史朗、白川和雄、島田治夫、福田一郎、佐藤公孝、柴田泰比古、有賀 弘、松田信男、飯野訓征

会員からのメッセージ

◆バースティ・カードをありがとうございました。良い時節になりました。貴ハウスの周辺の美しい風景が思い出されます。ますますのご発展をお祈りしております。 前川真理

◆美しいカードをありがとうございました。一年毎に加齢による身心面への影響は出て来ておりますが、健康状態はおおむね良好と感謝できる日々です。 鈴木順子

◆いつもお世話になりました。今後もよろしくご配慮の程お願い申し上げます。 高橋美佐子

◆祝・八王子セミナーハウスから大学セミナーハウスへの名称復帰。願・大学間の交流と教師と学生の生身のぶつかり合いのさらなる活発化。 田村皖司

◆高齢になり、病気をし、薬を必要とする身になりましたが、また来年も大学セミナーハウスを利用させていただけることを感謝しています。 熊川 忠

◆大学セミナー・ハウスの順調な維持・発展を心から嬉しく存じております。 宇野重昭

◆どうやら卒寿を迎え、昨年から、本年にかけて、拙著作集の補巻(一)『萬葉集にみる女・男』、補巻(二)『萬葉余滴』(おうふう刊)を上梓しました。ハウス創設当初、毎年、お世話になったことをなつかしく思い出し、今後の益々の充実、発展を心から祈念申し上げます。 青木生子

◆セミナーハウスが地についた着実な進化を遂げつつあることを嬉しく思います。甲斐 隆

◆外国人留学生の入学及び日本政府による世話が、発展することを、新年にむけて願っております。 松本幸一

◆セミナーハウスから徒歩15分位の所に住んでいますので、毎年、会費を持参していましたが、今回は郵送とさせていただきます。

(注) 後藤敏明様は八王子市元市長後藤聰一氏(千人会会員)のご子息です。お父様がご逝去後、千人会に入会して頂きました。今までは大変お世話になりました。今後どうぞよろしく願いいたします。 後藤敏明

◆大学セミナー・ハウスの丘を思い浮かべながら、日々、執筆し、また、絵を描き、時々、旅に出ています。 山岸 健

◆大学セミナー・ハウスのますますのご発展をおいのりいたします。今年も誕生日をむかえることが出来たことを感謝しています。 横沼健雄

◆もう何年も永いこと貴館を訪れていませんが、東京ですら遠くて、足が中々向かない定年後です。しかし、誕生カードをいただくとなつかしさがこみあげてきます。次に訪れるのはいつのことでしょうか。 小西正捷

◆来年もよろしく願います。 中野斉子

◆59回目の誕生日をむかえました。益々のご発展をお祈り申し上げます。 青柳総太郎

◆今年も千人会よりお誕生日カードをありがとうございました。本人は残念ながら去る11月15日帰天いたしました。高橋恒郎氏ご家族

◆誕生日カードをありがとうございました。留学生の方々のための御企画、素晴らしいことと存じます。「交流」がセミナーハウスの生命だと思えます。 三浦安子

◆バースディカードをありがとうございました。今年こそ、(中央線に乗って)セミナーハウスを利用させていただきたいと思えます。 堀井啓幸

◆ここ数年は利用していませんが、定期的にくニユースターを楽しみにしています。 出光直樹

◆こんな時代こそ、セミナーハウスの使命があると思えます。皆さんの精励を願います。昨秋飯田能子さんが来訪され、宗一郎さんの偉業を改めて追想しました。 鈴木 皇

◆セミナーハウスの御発展を心より期待致します。 松山正男

◆明けましておめでとうございます。大学セミナーハウスの益々の発展を祈ります。 得田保雄

◆益々のご発展をお祈りいたします。 松田安弘

◆インター・カレッジ、国際的教育機関として活躍されることを期待し、91歳になった老兵ですが、少々の寄付をさせていただきます。 北原文雄

◆遅くなりまして申し分けございません。昨年12月誕生祝いのお葉書有難うございました。平成22年度の千人会会費をお送り申し上げます。よろしく願い申し上げます。 岡崎 正

◆くさび型の本館を先日めいっ子が見て、「テレビの珍百景の様だ」と言っていました。インパクトあるこの建物こそ、いつまでも変わらぬシンボルタワーですね。 海老沢信一

◆元気に76歳を迎えました。大学セミナーハウスの健在を祈ります。 肥前榮一

◆去年4月より臨床を離れ、健康科学大学で働いています。また大学セミナー・ハウスでの出会いを楽しみにしております。貴大学セミナーハウスの益々のご発展を祈っております。 小林一彦

◆今年もまた3月にゼミ合宿をさせていただきます。大学セミナーハウスはゼミ出身者にとって楽しい思い出の場となっています。 森 久

◆開拓伝道8年目、ようやく知られてきました。この年になっても働けることに感謝。 小幡史朗

◆千人会からお祝い有難うございました。お陰様で83歳になりました。法律の研究を続けています。暇な折には小さな庭の畝に野菜(うり、なすなど)を作って楽しんでいます。 白川和雄

◆74歳誕生日を祝って下さり有難うございます。留学生等を通して国際平和に貢献していることを嬉しく思います。 島田治夫

◆祈平安東北関東大震災。祝大学セミナーハウス進展。 福田一郎

◆東北関東大震災にあわれた方々及び関係者の皆様にお見舞い申し上げます。勉学中の人々も多くおられる事と存じます。苦しいですが、くじけずに生きて下さい。 佐藤公孝

株式会社 東邦建設工業様に感謝状と記念盾を贈呈しました

多目的グラウンドの造成整備につきましては、平成17年5月の常務理事会で計画案をご承認いただいて以来、6年の歳月をかけて、平成23年3月に周辺道路の整備を含めて竣工いたしました。

この間、環境保全を念頭に献身的にご協力を頂きました株式会社東邦建設工業の渡邊一義社長様に、平成23年3月26日荻上紘一館長から感謝状と記念の盾を贈呈いたしましたのでお知らせいたします。

東邦建設工業様、ありがとうございました。
株式会社東邦建設工業概要（HPより）
住所 八王子市下柚木2-27-5-203
設立 平成9年8月
代表 代表取締役 渡邊 一義



完成した多目的グラウンド



左から程島専務、荻上館長、渡邊氏、佐藤氏(株式会社ワタイチ)

2010年度後期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
講演会	10/16	日本のパブリック・ディプロマシー —パリ、広報文化外交最前線—	渡邊啓貴(前日本大使館広報・文化担当公使、 東京外国語大学教授) 共催：財団法人日仏会館	80
第52回大学教員セミナー	10/16~17	全入時代の大学教育のあり方	山田礼子(同志社大学社会学部教授) 横山晋一郎(日本経済新聞社) 鏡屋 一(目白大学外国語学部長・教授) 榎本淳一(工学院大学工学部教授)	29
第37回国際学生セミナー	10/23~24	日本はどこへ —世界の中の日米中関係—	北岡伸一(東京大学大学院教授) 高木誠一郎(青山学院大学国際政治経済学部教授) 河野康子(法政大学法学部教授)	64
第7回古代史セミナー	11/6~7	日本古代史・新考・自由自在(その3)	古田武彦(歴史学者)	85
第23回大学職員セミナー	11/26~27	学生支援の高度化と職員の役割 —質保証の新たな展開の中で—	柳沢敏勝(明治大学副学長・教授) 榎本 剛(文科省高等教育政策室長) 林 祐司(首都大学東京准教授) 協賛：学術・文化・産業ネットワーク多摩、 大学行政管理学会	32
第5回FD研究会	12/4	学士課程教育の質保証体制の構築を目指して —アウトカムズ達成度評価手法としての ルーブリックの開発の現状と課題—	榎本 剛(文科省高等教育政策室長) 牧野光則(中央大学教授) 井上雅裕(芝浦工業大学教授) 村上雅人(芝浦工業大学副学長・教授) 共催：芝浦工業大学	87
留学生論文 コンクール2010	募集期間 5/1~10/15	私が考える地球的問題(グローバル・ イシュー)	共催：留学生新聞 後援：文部科学省、外務省、 国際交流基金日本語国際センター、 国際留学生協会	応募 90本 57大学 11カ国

2011年度 開催セミナー

主催セミナー名	日程	テーマ
第1回新任教員研修セミナー	9/ 5(月)～ 7(水)	
第24回大学職員セミナー	7/ 8(金)～ 9(土)	大学職員としてのアイデンティティ —大学職員の可能性を考える—
第25回大学職員セミナー	12/ 2(金)～ 3(土)	大学職員としてのアイデンティティ —職員が変われば大学は変わる—
第4回国際教養セミナー	10/22(土)～23(日)	文化交流は日中間の溝を埋められるか
第38回国際学生セミナー	11/26(土)～27(日)	アジア・太平洋地域はどこへ —新たな国際秩序の模索—
第8回古代史セミナー	11/ 5(土)～ 6(日)	日本古代史・新考・自由自在(その四)
第6回FD研究会	12月予定	未定
第4回教員免許状更新講習	12/25(日)～28(水)	教育の最新事情、教育内容の充実
第1、2、3回里山体験セミナー	未定(10月以降)	第1回里山を知る。第2回里山を感じる。第3回里山を撮る。
文部科学行政速報セミナー	未定	未定

☆詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み

TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

メールマガジンを週1回発行しております。ご希望の方は上記メールアドレスにてお申込下さい。

○寄贈図書(2010年10月～2011年3月)

アジアの現代文芸「スリランカ」 変わりゆく村

アジアの現代文芸「パキスタン」 ジブリールの翼

早稲田大学法学第85巻第4号2010

早稲田大学法学第86巻第1号2010

早稲田法学会誌第60巻第1号2009

早稲田法学会誌第60巻第2号2010

早稲田法学会誌第61巻第1号2010

早稲田法学会誌第61巻第2号2011

人文論集 2010 XLIX

東京大学大学院教育学研究科紀要第50巻

小学館101新書 品格の原点 いまなぜ「日本道徳論」なのか

官公庁資料編集会 日本人の心の教育 道徳の心培わずして国は栄えず

絵本・わらべとチャチャの般若心経

(財)大同生命国際文化基金

(財)大同生命国際文化基金

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

早稲田大学法学会

東京大学大学院教育学研究科

尾田幸雄(千人会同人)

尾田幸雄(お茶の水女子大学名誉教授)

新井良雄

館長室から 想定外

3月11日に我が国の観測史上に類を見ないM9.0の巨大地震が発生し、東北地方から関東に及ぶ太平洋沿岸の多くの市町村が壊滅的な被害を受けた。「東北地方太平洋沖地震」がもたらした「東日本大震災」である。被災地の方々には心よりお見舞いを申し上げます。

震源が陸地に近く、地震発生から津波襲来までの時間が30分程度だったために、大惨事となり多数の犠牲者が出た。今回壊滅的な被害を受けた市町村の中には、防災学の専門家のアドバイスに基づいて「安全な場所」に防災センターや指定避難場所を作っていたところもあるが、そこに避難した市民の多くが「想定外」の大津波にのまれて犠牲になっている。「世界一の防潮堤」を信頼して、平穏な生活を営んできたのに、一瞬にして地獄と化した町もある。

また、この巨大地震のために、東京電力福島第一原子力発電所において、次々と「事故」が発生した。揺れを感じて原子炉が停止するところまでは正常に機能していたが、冷却水循環装置が機能せず、それを補完するために設置されていた第2の装置も、第3の装置も機能しなかった。「想定外」の大津波に襲われて補助電源などが全て破壊されたためだと説明されている。しかし、安全性より経済性を重視した「想定」に問題があったのではないかと。

現実起きたことに対して、責任ある立場の者や専門家達に「想定外」と言われては、犠牲者達は浮かばれない。

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

制 編 発行 セミナーハウス・ニュース No.180
 作 集 行人 荻上 紘一
 || アトリエ 2011年5月発行
 || エイ 1のへ セミナーハウス・ニュースグループ